

神戸大学附属図書館 主催

平成22年度資料展

「住田文庫」にみる

開国と文明開化



「生寫異國人物魯西亞人飼羅紗羊之圖」五雲亭貞秀 画(万延元年11月)

入場
無料

2010年10月22日(金)～12月21日(火)

会場：神戸大学附属図書館 社会科学系図書館 【2階展示コーナー】

展示時間：月～金曜日/8:45～21:30、土～日曜日/10:00～18:00
(祝日・第1日曜日を除く)

交通：阪神「御影」・JR「六甲道」・阪急「六甲」の各駅から
市バス36系統 神大正門前下車約5分



神戸大学附属図書館 社会科学系図書館 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
問合せ先：情報リテラシー係 TEL:078-803-5313 e-mail: literacy@lib.kobe-u.ac.jp

「住田文庫」にみる開国と文明開化

現在、神戸大学は教育・研究とならぶ第三の使命として地域・社会との連携協力にも力を注いでいます。附属図書館でも、所蔵する貴重な資料を地域のみならずにもご覧いただきたいと考え、平成16年度から展示会活動をはじめ、今年で7年目となりました。

本年は、当館を代表する貴重コレクションである「住田文庫」の資料の中から、「開国と文明開化」をテーマに展示会を開催することになりました。幕末・明治初期の浮世絵版画や地図、書物において、外国人の姿や習俗、西洋の事情、そして文明開化の様子がいかに表されたかを紹介します。

多数のご来場をお待ちしております。

「住田文庫」とは

海運研究学者として知られた住田正一氏(1892-1968)が収集していた、慶長より明治初期に至る主として海事海運関係や地誌関係の和漢書約6,500点を、本学の前身官立神戸高等商業学校が大正15年に同氏から譲渡されたものです。江戸時代の木版印刷本や写本、それに古文書・古記録のほか古地図なども少なくありません。

海事海運分野に関連して、商業や外国関係、歴史、地理、教育など、収集範囲は多岐に渡っています。今回展示する資料には、一見海事海運とは無関係なものが多数含まれていますが、住田氏の広範な関心を示しているとも言えます。

なお、平成7年度から資料のデジタル化作業も進められており、現在約200点がデジタル資料として図書館ホームページで自由にご覧いただけます。

神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ 住田文庫
URL : <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sumita/>



『外国人子供寵愛之圖』

展示内容

1. 横浜浮世絵の中の外国人

開港直後、外国人の風俗を題材にした浮世絵(横浜浮世絵)が人気を呼び、次々と出版されました。「住田文庫」に収録された約30点の浮世絵の中から数点を展示し、当時の日本人が外国人に抱いた興味・関心を紹介します。



『世界国盡』

2. 啓蒙と戯作

開国により洋行が可能になると、自らの体験や見聞に基づく西洋事情の啓蒙書が現れるようになりました。一方で、こうした啓蒙書を参考に創作された読み物も生まれました。両者を対比させつつ紹介します。



『東京開化繁昌誌』

3. 西洋料理の広まり

開国に伴う人々と西洋料理との出会いを、様々な形態の資料により、料理法や食器、マナーといった切り口で紹介し、また、当時普及していった肉食の習慣についても紹介します。



『汐留より蒸気車通行之圖』

4. 科学技術への関心と受容

開化期には、「窮理学」という当時の西洋流学問への関心が高まり、科学書のブームが起きました。「窮理熱」と言われるこのブームや「改暦」を取り上げ、当時受容された科学を紹介します。

併せて、文明開化の象徴である鉄道について、錦絵を通し当時の様子を伝えます。